

人もクルマも、とても正気じゃられない
アツツーい季節ならではの対処法とは!?

夏の暑さ対策 2015 決定版! 大全

今年もやってきました、盛夏! 夏が大好きな人も、大っキライなあなたにも、分け隔てなく暑さは襲いかかってくる。夏は人間だけでなく、クルマにとっても酷な季節。思いもよらないトラブルに見舞われる前に、これだけはやっておこう!



ドライブ編

2 クーラーボックスにおしぼりを常備しよう

1年で最大のレジャーシーズンといえば夏。当然、家族でロングドライブに繰り出す機会も多くなるが、運転で疲れた体をリフレッシュするのに最適なのがおしぼり、または濡れタオル。それも氷水でキンキンに冷えていれば最高だ!

当然、そんなものは出先で簡単には手に入らないので、あらかじめ準備して持参する。用意するのは冷凍庫で凍らせておいたペットボトルの水とクーラーボックス、そしてタオルや手ぬぐいなど。もちろん、ジュースやお茶と一緒にしておいてもOK。

これさえクルマに常備しておけば、どんな長旅でも大丈夫。休憩時に冷たいおしぼりで顔を拭いて、英気を養おう!



▲釣りをやらない人でも、保冷用のクーラーボックスがあればドライブでは何かと役に立つ、ぜひ用意しておこう。

1 涼感ドライブのお供にクールマット!

夏の運転で何よりも不快なのは、シートに座ると背中がじっとり汗ばんで肌にくっついてしまうこと。汗っかきの人だと、たとえカーエアコンを入れても背中が汗だらけになってしまい、さらに不快度が上がってしまう。

そこでオススメしたいのが、シートの上にセットするビーズやメッシュ式のクールマット。よくタクシーの運転者が使っているアレだ。「あんなのカッコ悪くて…」なんて言っていないで、試しに一度使ってみてほしい。

背中とシートの間にすき間ができるから、蒸れることなく快適なもの。エアコンの冷風も通るので、汗がたちまち遠いしていく。さらに強力なのが、シガーソケットから電源を取るファン付きマット。お尻の下と背中に強制的に風を送るので、驚くほどよく冷える!



●クールクッション(ポンプファン)電動ファン付きの送風クッション